

みずほCustomer Desk Report 2020/05/01号 (As of 2020/04/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.88
TKY 9:00AM	106.61	1.0876	115.94	1.2465	0.6554
SYD-NY High	107.50	1.0973	117.76	1.2644	0.6570
SYD-NY Low	106.41	1.0834	115.55	1.2431	0.6491
NY 5:00 PM	107.18	1.0956	117.46	1.2596	0.6513
NY DOW	24,345.72	▲ 288.14	日本2年債	-0.180	0.00bp
NASDAQ	8,889.55	▲ 25.16	日本10年債	-0.040	1.00bp
S&P	2,912.43	▲ 27.08	米国2年債	0.2005	▲0.29bp
日経平均	20,193.69	422.50	米国5年債	0.3647	▲0.16bp
TOPIX	1,464.03	14.88	米国10年債	0.6448	1.71bp
シコ日経先物	20,035.00	▲ 420.00	独10年債	-0.5935	▲9.70bp
ロンドンFT	5,901.21	▲ 214.04	英10年債	0.2250	▲5.80bp
DAX	10,861.64	▲ 246.10	豪10年債	0.9250	▲0.80bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	7.11	▲0.31%
上海総合	2,860.08	37.64	USDJPY 3M Vol	7.70	▲0.33%
NY金	1,694.20	▲ 19.20	USDJPY 6M Vol	8.19	▲0.01%
WTI	18.84	3.78	USDJPY 1M 25RR	-1.40	Yen Call Over
CRB指数	117.20	5.33	EURJPY 3M Vol	8.67	▲0.57%
ドルインデックス	99.02	▲ 0.55	EURJPY 6M Vol	9.08	▲0.43%

東京	東京時間のドル円は106.61レベルでオープン。、仲値にかけて106.88に上昇する場面はあったものの、その後は上値重い展開。株高にも反応は薄く、106.41まで下落。やや値を戻し、結局106.49レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.49レベルでオープン。立ち上がりはアジア時間の円買いを戻す展開で106.73まで買われるも、方向感はずれ結局106.52レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0863レベルでオープン。ECB理事会を控えもみ合い。昼過ぎに政策金利は据え置きでパンデミック緊急購入プログラムの規模拡大が示唆されたが、その後のラガルド総裁の記者会見待ちで方向感なし。1.0855-91で取引され1.0868レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、日本株が堅調に推移し、円売りが先行する中、東京仲値にかけて106.88まで上昇するが、次第に月末の実需絡みの売りに圧迫され、106.41まで反落。その後は106.60近辺で小動きとなり、106.52レベルでNYオープン。朝方発表の米3月個人消費は予想の範囲内となったほか、米新規失業保険申請件数が予想を上回るも増加ペースが鈍化しているためか、ドル円の反応は限定的だった。その後、特段のヘッドラインは見当たらない中、ロンドンフィキシングにかけて全面的な円売りが強まったことから107.22まで急上昇する。買い一巡後は107.00近辺でもみ合い。その後、6月限原油先物や米金利の上昇を眺めながら、107.50まで高値を更新。終盤は107円台前半まで反落し、結局、107.18レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、ECB理事会を控え、1.0870を挟んだ狭いレンジ推移。注目のECB理事会では、政策金利の据え置きとなり、TLTROの最低金利引き下げや、銀行向けの新たなパンデミックリファイナンスオペなどが発表されるが、ユーロドルの反応は限定的で、1.0868レベルでNYオープン。朝方はラガルドECB総裁の記者会見で「PEPPを必要な限り拡大・延長する用意がある」と述べるとユーロ売り優勢となり、1.0834まで下落。しかし、その後、月末の調整絡みのドル売りや円売りがみられる中、ユーロ円とともにユーロドルは大幅に上昇し、約2週間ぶりの水準となる1.0973まで上昇。買い一巡後、1.0922まで反落するが、その後、ユーロ円が高値を探る展開に連れて、ユーロドルも1.0963まで上昇し、1.0956でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

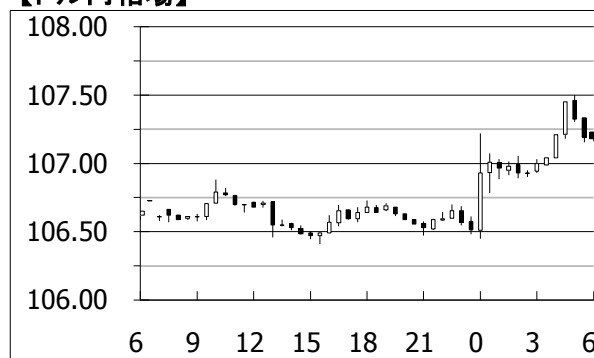
担当: 木村・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

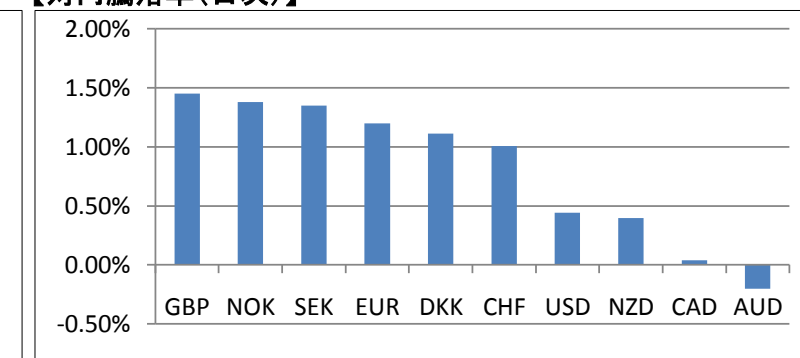
Date	Time	Event	結果	予想
4月30日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	3月 -3.7%/-5.2%	-5.0%/-7.4%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	4月 50.8/53.2	51.0/52.5
	18:00	欧 失業率	3月 7.4%	7.8%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	1Q A -3.8%/-3.3%	-3.8%/-3.4%
	18:00	欧 CPI(前月比)・速報	4月 0.3%	0.1%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	- 0.0%	0.0%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	- -0.50%	-0.50%
	21:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	3月 -0.3%/1.3%	-0.3%/1.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 384k	350k

Date	Time	Event	予想	前回
5月1日	10:30	豪 PPI(前年比/前年比)	1Q -	1.4%/0.3%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	4月 36.7	36.9
	23:00	米 ISM製造業景況指数	4月 36	49.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 方向感の定まらないユーロドル相場

ユーロドル相場は、3月に原油価格暴落を発端としたパニック的なドル売り相場で一旦急上昇した後、流動性が枯渇するなかドルの資金不足による需要の高まりで急落し、上下約850pipsの値幅を付けた。その後各国の中銀が協調してドル資金供給策を打ち出したことで4月に入ってからは徐々に相場は安定してきた。但し、ドル需要の緩みから円高傾向にあるドル円相場とは異なり、ユーロドルの4月以降のチャートは三角持ち合いを形成しており、上にも下にも抜けきらず方向感の定まらない状態となっている。4月に入ってから欧州でのコロナウイルスの新規感染者数は鈍化しており、経済活動再開に向けたポジティブな動きが出てきているにも関わらず、市場参加者のユーロに対する視線は相変わらず厳しい。

昨日のECB理事会では、長期資金供給の金利をマイナス1%に引き下げたほかパンデミック緊急購入プログラム拡大が示唆されたが反応は限定的。その後ロンドンフィキシングにかけて月末フローの関係でユーロ高が進行したものの、直近高値(4/15:1.0994)の更新には至らなかった。世界的に経済活動再開に向けた動きが意識される中で、EU圏では国境管理や財政政策において足並みを揃えることが容易でないことや、アフリカやロシアでの感染拡大が予断を許さない状態が続いていることが、景気回復への道に影を落としているように思える。

コロナウイルスの感染拡大が世界的各地でピークアウトを迎えつつあることで過剰なリスクオフ相場は収まったものの、当面はコロナウイルスが景気に与えるダメージを検証する段階であり、経済正常化までの道のりを展望するにはもう少し時間が必要となる。足許のユーロドル相場は、上値が重い中で短期的な需給に左右される展開が継続すると予想する。(木村)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14